

登録コード	TSY01500	開講年度	2026			
授業科目	建築環境設計学				担当教員	中谷 岳史
英文授業名	Advanced Architectural Environment Design				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生
講義室	工C3-300教室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力			建築分野の環境調和社会, 知識基盤社会を支える為, 建築環境工学に基づいた知識と計算ができるようになり, 実践的問題を解析ソフトで検討できるようになる.		
(2)授業の概要	授業内容は太陽設計, 温熱設計, エネルギー設計で構成する. 基礎理論と計算で理解を深め, 解析ソフトによって実践的検討を行う.					
(3)授業計画	第01回 太陽設計の基礎理論・演習 第02回 太陽設計の検討 第03回 太陽設計の検討 第04回 太陽設計の検討 第一課題は授業2回目で課して, 授業5回目までに提出する. 第05回 温熱設計の基礎理論・演習 第06回 温熱設計の検討 第07回 温熱設計の検討 第08回 温熱設計の検討 第09回 温熱設計の検討 第二課題は授業5回目で課して, 授業10回目までに提出する. 第10回 ライフサイクル設計の基礎理論・演習 第11回 ライフサイクル設計の検討 第12回 ライフサイクル設計の検討 第13回 ライフサイクル設計の検討 第14回 ライフサイクル設計の検討 第15回 まとめ 第三課題は授業10回目で課して, 授業15回目までに提出する.					
(4)成績評価の方法	3回のレポートの合計で評価する. 第一課題は30%, 第二課題は30%, 第三課題は40%である。出席し, 3回のレポートを全て提出した学生を評価対象にする.					
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	30時間を目安に授業内容を事後学習すること, また授業中に指示した内容について事前学習すること。					
(7)履修上の注意	授業では解析ソフトとして, FlowdesignerやOne Click LCAなどを用いる. 各自ノートパソコンを持参する。教育版を本授業に限定して貸出する。 授業は建築環境工学I, 建築環境工学IIを理解していることが前提条件である。					
(8)質問,相談への対応	講義中や講義前後に随時受け付ける。 メールの場合はt-nakaya@shinshu-u.ac.jpまで連絡すること。					
(9)その他						
【教科書】	川島 範久: 環境シミュレーション建築デザイン実践ガイドブック, 彰国社, 2022, 3850円(税込)					
【参考書】	指定しない. 必要に応じて授業中に資料を配布する.					